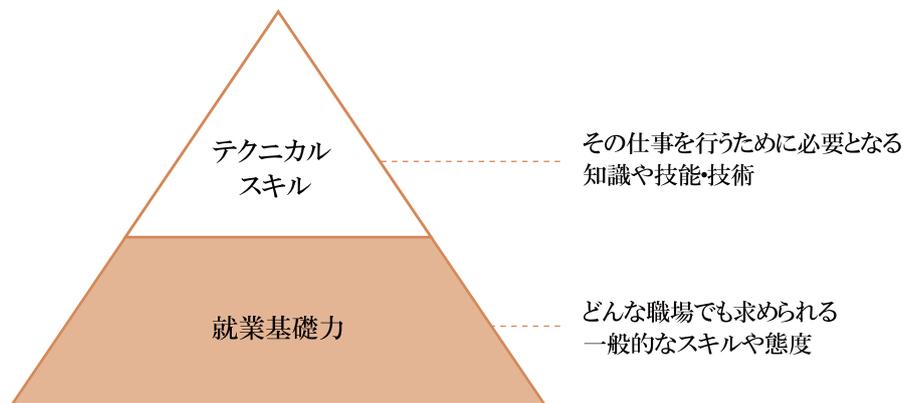


派遣で働く力を支える「4つのチカラ」

派遣先で仕事をする時に必要なのは、その仕事に関する知識や技能・技術などではありません。職場の中で仕事をうまく進めるために必要なコミュニケーション能力や仕事に対する姿勢などが十分に備わっていることで、存分に知識や技能を發揮することができ、評価につながります。これを「就業基礎力」といいます。「4つのチカラ」は、この就業基礎力の中でも特に派遣社員に必要な種類の力に着目した能力診断の指標です。この「4つのチカラ」を向上させることで、派遣先でより働きやすくなったり、任される仕事のレベルを上げたりすることが期待できます。

テクニカルスキルを支える「就業基礎力」



「4つのチカラ」の種類



「4つのチカラ」は、それを意識しながら仕事に取り組むことで力を向上させることができます。

チカラを伸ばす行動

実践のヒント

聴くチカラ

相手の話の腰を折らずに、最後まで聞く

話の内容がおおよそ分かって、話は最後まで聞きましょう。話の内容を理解することよりも、「存在を認めていますよ」「話を聞いていますよ」、という姿勢を示すことが重要です。

うなずく、あいづちをうつ、目を見る、身をのりだすなど、話を聞いているという姿勢をみせる

「無反応」は、相手の話す意欲をそいでしまう行為です。「うなずく」は単純な行為ですが、「相手の言葉を受け止めている」、「相手に興味を持っている」ということを強く示すことができます。

相手がなぜその話をしているのか、相手の気持ちや状況を考えながら、話を聞く

思ったことを口にする、表現することは意外にできないものです。相手の発言内容や「しぐさ」から、本当に考えていること、思っていることを想像してみると、対応も変えられるかもしれません。

伝えるチカラ

一日の仕事が終わる時に、今日あったことや感じたことを上司やリーダーに報告する

報告は、仕事をするうえでとても重要なことです。あなたしか知らない情報や考えを共有することで、組織の生産性が飛躍的に上がることもあります。

仕事の中で改善したほうがいいと思うことを見つけ、上司やリーダーに伝える

現場の声は、上司にとってはとても助かる情報です。日頃感じていることをちゅうちょせずに行ってみましょう。

自分を見てくれている上司やリーダーに、報告・連絡・相談をこまめに行う

上司やリーダーは、あなたが「事前の相談」「途中経過の連絡」「結果や業務上知りえた情報の報告」などをすることで、あなたの状況を理解し、仕事のサポートがしやすくなります。

遂げるチカラ

自分と同じ仕事を上手に行っている人に、仕事の仕方や気をつけていることを聞いて、まねをする

「学ぶ」という言葉の語源は「真似ぶ」であるように、うまくできている人のやり方を聞き、良い面を取り入れてまねをすることはチカラを向上するうえでとても有効な方法です。

困っている人がいないか、自分にできる仕事はないか、意識して周りを観察し、できることがあれば手伝う

自分と周りの人との役割分担で、チームの目標は達成されます。周りの人を手伝うことで、あらためて自分の役割がはっきり見えてくることもあります。

自分に期待されている役割を上司に聞き、必要に応じて行動を修正する

自分の行動が正しいかどうかを客観的に見てもらうことで、自分では気づかなかったことや、具体的に注意すべきポイントなどが明確になってきます。

律するチカラ

仕事上で、動揺したり落ち込んだりした経験を思い出し、原因となったことと、自分個人の価値は別、と整理してみる

注意された時、「自分ではできない」「自分はダメな人間だ」と考えるのは間違っています。「やったことがダメ」であり、「それをやった人間がダメ」なのではありません。コトとヒトを分けて考えましょう。

動揺したり落ち込んだりすることが、自分や周りの人にとって、どんな価値や意味のあるものか考えてみる

誰でも動揺したり、落ち込んだりすることはあります。しかし、その時間が長ければ長いほど周りに良くない影響を与えてしまいます。周りの人にあなたの動揺や落ち込みはどのように見えているか考えてみましょう。

自分のストレスへの対処の仕方について、改善点がないか上司や周りの人に聞いてみる

自分の対処方法について、周りからどう見えているかを知ることによって、新たな対処の観点が得られることもあります。